



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06-6306-4121
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	6,384	△6.8	305	△13.5	417	7.9	321	25.6
2020年3月期第3四半期	6,849	1.2	353	13.5	386	11.5	255	11.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 344百万円(34.4%) 2020年3月期第3四半期 256百万円(110.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	177.18	—
2020年3月期第3四半期	140.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,191	7,290	71.1
2020年3月期	9,887	6,980	70.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 7,244百万円 2020年3月期 6,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,850	0.1	330	5.3	380	1.7	280	6.6	154.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期3Q	1,876,588株	2020年3月期	1,876,588株
2021年3月期3Q	58,619株	2020年3月期	68,024株
2021年3月期3Q	1,814,207株	2020年3月期3Q	1,819,741株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延や、国内での感染拡大などの影響により極めて厳しい状況となりました。経済活動と感染防止の両立が求められるなか、ウィズコロナの新たな活動を模索しており、景気の先行きが見通しにくい状況が続きました。

食品業界におきましては、消費者の安全・安心への関心が益々高まるなか、食品衛生法改正により一段と高い品質・衛生管理体制の整備が求められています。また、経営面では、少子化が進み量的な拡大が見込めない一方、製造コストの増加傾向が今後も強まっていくものと思われます。とりわけ、輸入原材料などに多くを依存していることによる為替変動リスクに晒されているほか、人件費や物流コストの上昇など負担は益々増大しております。なお、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響は依然として続いており、消費者の外出自粛により在宅の長期化が進み、業務用商材が低迷している一方、一般家庭用商材については巣ごもり消費が継続しています。

このような状況のなか、当社グループでは、過年度に取得した食品安全の国際規格FSSC22000のバージョン更新を引き続き実施しており、品質の維持・向上や合理化のための設備投資を継続的かつ積極的に行っております。また、環境面においては、当社グループの主力商品「新あさひ豆腐10個入」を皮切りに紙容器などをFSC®認証紙に切り替えております。なお、新型コロナウイルス感染症による影響については、農林水産省より食料安定供給の観点から事業継続のガイドラインが発信されており、当社グループでは感染予防に十分な対策を取り、市場への円滑な商品提供に万全を期しております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、従来の営業活動が制限されるなか最需要期を迎えましたが、売上高は好調だった前年度には及ばず、63億8千4百万円（前年同期比6.8%減）となりました。利益面では、営業利益は売上減少により3億5百万円（同13.5%減）でしたが、経常利益は前年度に発生した食品事故を含む受取保険金計上があったため4億1千7百万円（同7.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億2千1百万円（同25.6%増）と大幅に増加しました。

部門別概況は、次のとおりであります。

[凍豆腐]

凍豆腐では、引き続き市場拡大・活性化を図るべく活動してまいりました。とりわけ、当社グループの食品研究所にて、「乳児アトピー性皮膚炎改善の効果」や「食後血糖値上昇抑制効果健康機能性」についての論文を発表するなど製品価値の訴求に努めてまいりました。また、業界では、本年より毎年11月3日を「高野豆腐の日」と定め、一層の普及活動に努めております。しかし、需要面では、一般家庭用商材の巣ごもり消費が継続しているものの、業務用商材においては昨年4月の緊急事態宣言以降の外出等の制限や全国一斉臨時休校による学校給食での需要減の影響を受け、非常に厳しい状況で推移しました。その結果、売上高は、好調だった前年同期には及ばず31億4千8百万円（同7.2%減）となりました。

[加工食品(即席みそ汁等)]

加工食品では、単品収益管理の徹底により不採算アイテムの改廃を進め収益力の改善に引き続き努めております。また、大手コンビニエンスストアと共同でカップ入りタイプの新商品開発の取り組みを行いました。しかし、袋入りタイプの市場における価格競争などは依然激しく、収益性が悪化した商品の改廃を政策的に進めたことにより、売上高は17億9百万円(同10.1%減)となりました。

[その他食料品]

その他食料品では、売上高は15億2千6百万円(同2.0%減)となりました。中でも主力の医療用食材につきましては、長期化する新型コロナウイルス感染症拡大防止対策などによる影響から、病院や介護施設・給食会社などでの需要減を受け、低調に推移いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の資産合計は、前連結会計年度に比べ3億4百万円増加し101億9千1百万円(前連結会計年度比3.1%増)となりました。これは、現金及び預金の減少1億5千8百万円があったものの、最需要期での販売増による受取手形及び売掛金の増加3億4千2百万円、システム投資に伴う無形固定資産の増加6千9百万円や、投資有価証券の評価差額金などでの増加3千1百万円があったことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べ5百万円減少し29億円(同0.2%減)となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加9千5百万円、短期借入金の増加2千7百万円などがあったものの、返済に伴う長期借入金の減少9千7百万円や設備関係支払手形の減少5千万円が主な要因です。

当第3四半期連結会計期間の純資産合計は、前連結会計年度に比べ3億9百万円増加し72億9千万円(同4.4%増)となりました。これは利益剰余金の増加2億6千3百万円や、投資有価証券の時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加2千1百万円などがあったことによるものです。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ0.9ポイント増加し71.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、概ね当初予想から大きく乖離することなく推移しておりますが、新型コロナウイルス感染症による業績への影響については不透明な状況が続いております。そのため、2020年5月15日に公表いたしました2021年3月期の連結業績予想を変更しておりません。今後、修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,298,571	2,140,450
受取手形及び売掛金	1,511,019	1,853,088
たな卸資産	826,784	872,448
その他	66,220	91,220
貸倒引当金	△4,928	△6,187
流動資産合計	4,697,666	4,951,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,844,094	5,831,759
減価償却累計額	△4,551,742	△4,598,463
建物及び構築物（純額）	1,292,352	1,233,296
機械装置及び運搬具	6,821,122	6,810,816
減価償却累計額	△5,450,528	△5,481,466
機械装置及び運搬具（純額）	1,370,593	1,329,350
土地	1,703,573	1,703,573
リース資産	193,595	187,181
減価償却累計額	△126,669	△125,512
リース資産（純額）	66,925	61,668
建設仮勘定	940	60,403
その他	445,454	452,350
減価償却累計額	△378,138	△379,597
その他（純額）	67,315	72,753
有形固定資産合計	4,501,701	4,461,046
無形固定資産	92,548	161,740
投資その他の資産		
投資有価証券	529,463	561,270
繰延税金資産	10,256	5,445
その他	58,985	54,219
貸倒引当金	△3,227	△3,227
投資その他の資産合計	595,477	617,708
固定資産合計	5,189,726	5,240,495
資産合計	9,887,393	10,191,515

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	541,449	637,118
短期借入金	502,264	529,489
リース債務	31,459	29,667
未払金	340,913	311,917
未払法人税等	41,743	47,381
賞与引当金	96,584	59,748
設備関係支払手形	134,110	83,956
品質関連損失引当金	14,441	1,035
その他	128,755	210,245
流動負債合計	1,831,723	1,910,558
固定負債		
長期借入金	946,147	848,909
リース債務	42,409	37,704
長期末払金	31,147	31,274
繰延税金負債	-	17,583
資産除去債務	48,089	47,684
その他	7,050	7,050
固定負債合計	1,074,843	990,206
負債合計	2,906,566	2,900,765
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	3,947,011	4,210,641
自己株式	△166,508	△143,487
株主資本合計	7,030,770	7,317,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△142,922	△121,656
為替換算調整勘定	48,591	49,091
その他の包括利益累計額合計	△94,331	△72,565
非支配株主持分	44,387	45,892
純資産合計	6,980,826	7,290,749
負債純資産合計	9,887,393	10,191,515

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	6,849,385	6,384,609
売上原価	4,723,754	4,467,047
売上総利益	2,125,631	1,917,561
販売費及び一般管理費	1,772,281	1,611,966
営業利益	353,349	305,595
営業外収益		
受取利息	3,291	3,582
受取配当金	13,154	13,959
受取賃貸料	216	3,008
受取保険金	1,251	69,964
受取技術料	7,890	17,651
補助金収入	3,328	4,054
雑収入	13,379	8,499
営業外収益合計	42,510	120,720
営業外費用		
支払利息	5,298	4,809
賃貸収入原価	-	2,772
為替差損	2,171	-
雑損失	1,460	1,272
営業外費用合計	8,930	8,854
経常利益	386,929	417,461
特別利益		
固定資産売却益	-	534
品質関連損失引当金戻入益	-	213
特別利益合計	-	748
特別損失		
固定資産除却損	5,924	7,354
有価証券評価損	7,393	-
品質関連損失	39,808	10,413
特別損失合計	53,127	17,768
税金等調整前四半期純利益	333,802	400,442
法人税、住民税及び事業税	52,436	62,769
法人税等調整額	25,384	14,772
法人税等合計	77,821	77,542
四半期純利益	255,980	322,899
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	1,449
親会社株主に帰属する四半期純利益	255,940	321,450

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	255,980	322,899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,230	21,266
為替換算調整勘定	△26,662	555
その他の包括利益合計	567	21,821
四半期包括利益	256,548	344,721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	259,174	343,215
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,626	1,505

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

品質関連損失

2019年10月3日に公表致しました当社一部製品が原因の食品事故発生に伴い、本件に係る費用を品質関連損失として計上しております。

当該損失の主な内容は、品質関連損失引当金繰入額であります。

(セグメント情報等)

当社グループは、食料品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。